

選手たちと日本一を喜ぶコベルコ神戸スティーラーズの
デイブ・レニー・ヘッドコーチ(中央)=7日午後、東京・M
UFGスタジアム(撮影・丸山桃奈)

ラグビー・リーグワン初優勝



NI Eワークシート
中~高校

名将実直 神戸再び輝く

「変化させるには3年間、フルで関わらせてほしい」。そう訴えて就任した指揮官が、有言実行の3季目で名門を再建した。ラグビーのリーグワンでコベルコ神戸スティーラーズを初優勝に導いたデイブ・レニー・ヘッドコーチ(HC)。62歳の元教師は「いい人間を育てたいと思ってきた。みんなのハードワークの成果」とチームをたたえた。栄冠を置き土産に、今後は母国のニュージーランド代表「オールブラックス」を率いる。(1面参照)

レニーHC 3年で結果、有言実行

元パックスの選手で州代表にも選ばれたが、肩のけがなどにより28歳で引退。学校教師として中学生ぐらいの年代を教えただけ、パブ経営の傍ら指導者の道に入った。南半球最高峰リーグ「スーパーラグビー」のチーフスで連覇し、オーストラリア代表監督など国際舞台でも活躍。2023年に神戸にやってきた。チーフスは神戸の前身の神戸製鋼と提携しており、「いつか神戸で指導するかも」との思いはあったという。当初のオフアは全体統括の「ディレクターオブラグビー」。現場指導は十数週間のみという話に、前シーズン9位に沈んだチームの復活には不足だと主張し、HCも兼ねた。

街に愛着、震災行事にも参加

「技術も身体的強さも知識も足りなかった」と厳しく評し、戦術などを細かく指導。さらに教師経験から「フィールド外のこともパフォーマンスに影響する」と選手の家族構成、育った環境の把握にも努めた。苦戦中のハーフタイムに「簡単に勝てると思って、なめているのか」と激情を見せる一方、数日後には冷静に選手に話し合いを促す。試合のメンバーから外す選手には、自ら課題も長所も正直に話して聞かせた。

山口奨さん(36)は「話にふれがない。スタッフらを裏で悪く言うこともない」とその実直な人柄を明かす。「愛情もある。直接伝えるのは下手ですが」神戸の街との結びつきにもこだわった。阪神・淡路大震災について「当日に何かないのか」と尋ね、東遊園地の追悼行事「17のつどい」に個人で様子を見に行った。紙灯籠をささげて雰囲気を感じ、「力になりたい」と翌年からチーム全体で参加した。

「自分たちが代表する街にとって絶対に目を背けられない歴史。災害に屈しない気持ちは選手にも力強いメッセージになる」

お好み焼き屋に足しげく通うなど、私生活でも神戸に愛着を深めた3年間だった。「人々も安全面も素晴らしい。本当に特別な街。ここでコーチができて光栄だった」(伊丹昭史)

新たな一ページ

神戸製鋼・勝川四志彦社長の話優勝という素晴らしい成果を収め、伝統あるコベルコ神戸スティーラーズの歴史に新たな一ページが刻まれたことを、心よりうれしく思う。一人一人の違いを力に変え、チームの総合力として結果したものと受け止めている。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

1 上の記事を読んで、下の英文の[]に適切な語句を入れて、英語の説明文を完成させましょう。

Kobelco [①] Steelers won the Rugby League One championship.

The head coach of the Steelers is [②] -year-old Dave Rennie.
(↑数字で)

He was a junior high school [③].

He [④] the city of Kobe, and the people of Kobe trusted him.

He is set to [⑤] the next All Blacks head coach.

2 次の問いの答えを英単語で書きましょう。

Q: Which country's national team are the All Blacks? A: []

